

次期計画の施策体制(案)

将来像	目指す都市像	課題	基本方針	目標値			
やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち	2050 ゼロ・ウェイストちよだ	(1)家庭系ごみの課題 家庭ごみはコロナ禍で増加し高止まり。今後も人口増加や外国人の増加が予測され、分別対応が課題となっています。	ごみの発生抑制と、メーカーへ製品開発を促す上流対策の促進	ごみ排出量 基準年度 令和5年度 67,756t ↓ 当面の指標 令和11年度 56,000t ↓ 目指すべき姿 2050年度 0t			
		(2)食品ロスの課題 千代田区でも削減計画を策定し、啓発やフードドライブなどの施策を進めていますが、都市部の生ごみリサイクルや事業者への具体的な取り組み促進が課題です。		資源循環の更なる促進	指標 区民1人1日あたりのごみ排出量 基準年度 令和5年度 364g/人・日 ↓ 当面の指標 令和11年度 330g/人・日		
		(3)事業系ごみの課題 本区は事業系ごみが全体の90%を占め、削減が重要課題。分別促進や再生利用の取り組み強化が求められています。また、大規模建築物から排出される紙類や厨芥類の再生利用強化が急務。効果的な施策の実施が求められています。			ライフスタイルや事業活動の見直しを促す情報発信の推進	資源化率 基準年度 令和5年度 56.7% ↓ 当面の指標 令和11年度 65.0% ↓ 目指すべき姿 2050年度 100.0%	
		(4)インバウンドへの対応への課題 秋葉原で外国人観光客の増加に伴い、ごみのポイ捨て問題が深刻化。ごみ箱設置や処理費用確保が課題です。				事業系ごみの更なる削減	
		(5)区民や事業者への効果的な情報提供と意識啓発の課題 区民や事業者への分かりやすい情報提供が重要で、ゼロエミッション活動や多様な広報手段の活用が課題です。具体的な数値目標を示し、効果的なコミュニケーションと参加促進策が必要です。					
		(6)ねずみ問題 区内の衛生環境や生活環境に悪影響を及ぼしているねずみの発生課題					
		(7)災害廃棄物の課題 「千代田区災害廃棄物処理計画」の実効性を高めるためには、計画の運用に向けた体制強化、企業との連携、区民や事業者への啓発活動の強化が課題					

項目	内容
1 ごみの発生抑制と再利用の促進	(1)千代田区型ライフスタイルの提案 1.消費段階での発生抑制の促進【継続】 2.リユース食器の利用促進【拡充】 3.食品ロス削減【継続】 4.レジ袋の削減、マイバッグの推進【継続】 5.リペアの推進【新規】 6.千代田エコシステム(CES)の推進【継続】 7.粗大ごみの有効活用【継続】 8.フリーマーケットの支援【継続】 9.リサイクルセンターの機能更新の検討【新規】 10.民間団体等との連携【継続】 11.環境配慮型清掃車両の導入促進【継続】 12.ごみ収集のDX化の促進【新規】 13.収集手数料有料化の検討【継続】 14.ごみ処理コストの見える化【継続】 15.マンション等におけるごみ減量指導の徹底【継続】 16.マンション等の資源の集団回収の充実【拡充】 17.プラスチックの循環システム【新規】 18.紙類の分別・資源回収【拡充】 19.古着の資源回収の拡大【新規】 20.蛍光管の資源回収【拡充】 21.使用済小型家電の回収【継続】 22.園芸土の資源回収【継続】 23.不燃物からの有害物を分別【継続】 24.不燃物からの資源物を分別【継続】 25.生ごみ(厨芥類)のリサイクル【新規】 26.使用済紙おむつのリサイクル【新規】
	(2)不用品の有効活用の促進
	(3)ごみ収集作業の環境配慮とDX化の促進
	(4)家庭ごみの減量化の促進
	(5)プラスチック類の分別指導の強化 (6)紙類の分別指導の強化
	(7)その他の資源回収
	(8)リサイクルの推進
	2 事業系ごみの削減
(2)区が収集する事業系ごみの適正化 31.収集時の指導を強化【継続】 32.事業所・商店街における資源化の推進【継続】	
(3)一般廃棄物収集運搬業者への指導・助言 33.一般廃棄物収集運搬業者への指導・助言【継続】 34.食品廃棄物の発生抑制【新規】 35.事業者と連携した食品ロスの削減【新規】 36.食べ残しの持ち帰りの推進【新規】 37.フードシェアリングの推進【新規】 38.食品廃棄物の循環システム【継続】 39.生ごみ分解装置設置補助金の創設【新規】 40.商習慣の見直しに向けた検討【新規】 追加●千代田区本庁舎食堂での生ごみゼロの要請【新規】	
(4)事業系食品廃棄物ゼロを目指す取組【重点項目】 41.小規模事業者の立ち入り指導【継続】 42.共同での資源回収システムの構築【新規】 43.拡大生産者責任の徹底【継続】 44.生産・流通販売段階での取り組み【継続】 45.事業系古紙回収協力事業所制度(案)の検討【新規】 46.機密文書処理の支援検討【新規】	
(5)小規模事業者への対応	
(6)生産・流通販売段階での発生抑制の促進	
(7)事業系の紙ごみ削減の推進【重点項目】	
3 協働による持続可能な循環型社会の実現	(1)地域コミュニティを核とした千代田区スタイルの取り組みの推進 47.地域コミュニティとの協働【拡充】 48.マンション等の資源の集団回収の充実【16の再掲】 追加●ねずみ問題対策の推進【新規】
	(2)新たな都市型環境コミュニティの形成 49.企業やNPO、大学等との連携と協働 50.公共空間におけるごみ箱の統一ラベルや分別ルールづくり【継続】 51.スマートゴミ箱の導入【新規】
	(3)リユース型地域循環構想の普及・啓発 52.千代田区にふさわしい循環圏の構築【継続】 53.都と連携した資源循環施策【拡充】 追加●全国食品ロス削減大会の招致【新規】
	(4)環境学習・環境啓発の充実 54.環境教育等におけるPR【継続】 55.地域や学校の情報交流【継続】 56.イベント等を通じた環境学習の推進【継続】 57.広報の充実【拡充】 58.ごみ分別アプリ「分けちよ！」の機能拡充【拡充】 59.リサイクルセンターの機能更新の検討【9の再掲】 60.環境普及啓発の推進【継続】 61.環境学習・環境教育の推進【継続】 追加●メディアを通じた啓発活動の推進【新規】 追加●ごみ削減に向けて区民アイデアコンテストの開催【新規】 追加●区役所職員に対する意識醸成【新規】
	(5)区民ニーズに相応したサービス展開 62.ふれあい収集の充実【継続】 63.CCC(千代田・クリーンアップ・クルー)活動【継続】 64.広告型給水スポットステーションによる脱ペットボトル【新規】
	(6)不適正排出対策 65.不適正排出対策【継続】